

元街小学校学校マニフェスト（中期学校運営計画）

計画期間 平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

- ・共に学びを高めあえるように育てます。
- ・自分らしく生きる子どもを育てます。
- ・この地を愛し、この地を創る子どもを育てます。

学校経営方針

学校教育目標の具現化に向け、重点課題を作成し、実践を通して進捗を図ります。

- ・魅力あふれる地域という学習材と子どもたちの実態をすり合わせ、人とのつながりを大切にした特色ある教育課程を編成します。
- ・学校評価を活用し、教職員相互の協働意識を高める学校づくりを進めます。

指導の重点

- ・基礎基本の確実な定着を図るため、各教科等の学習指導法の工夫に努めます。
- ・総合学習の「元街タイム」で学ぶ問題解決的な学習を基に、子どもの主体性や問題解決能力を高めます。
- ・教科等の学習の効果を高めるため学校評価を活用し教職員の質の高まりを図ります。

改善の視点

取組目標

1 普段の学習状況の把握と学力状況調査から伺える各学年の特性を捉え、効果を上げる継続した学習指導に取り組む必要があります。

- ・19年度より学習指導計画の中に新しく形成的評価を位置づけ個々の児童の学習状況の把握と改善に役立つよう努めます。
- ・18年度までに行われた少人数制の学習法をさらに進展させ、19年度は複数教科で取り組んでいきます。
- ・3年までの若年層教諭を対象にした研修の場を増やすと共に事後研修により指導力向上に取り組みます。
- ・19年度は、これまでのモジュール方式から固定時間(45分)に改め、効果ある学習法の研修に取り組みます。

2 横浜を愛し、積極的に社会に関わり貢献していく子どもの育成が求められています。

- ・総合学習「元街タイム」において3年生から地域を材とし、人、ものへの関心を育み、ことの追求をしていきます。19年度は、中区80周年にもあたっており関連をさらに深められるよう取り組みます。また、2年後開港150周年にもあたることから学年をまたがる大きな単元づくりにも取り組みます。
- ・学習発表等参観の機会を広げ、授業活動を通し、子どもたちのかかわりが深まるよう支援してもらえよう取り組みます。

3 子どもの安全について校内から校外（特に登下校等）への対応が求められています。

- ・校内の整備は整いつつありますが、訓練を通し、より安全について検討を進めていきます。
- ・下校時、PTAによる見守りが広がってきています。さらに、常設的な地域協力が得られるよう努めていきます。
- ・定期的な「防犯ニュース」の発行の継続と必要に応じた情報伝達に努めます。

4 学校評価の在り方、活用の仕方
等学校経営に外部評価を取り入れ
ながら進めていく方向が求められ
ています。

- ・重点項目を中心として毎年作成している「元街小学校 評価年間計画」に基づき、チェック→アクションのサイクルの徹底と教師間の共通理解が図られるように努めます。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用し、学年の取り組みの振り返りと対策について検討を行う。
- ・外部評価に教育的専門家をまねき、専門的な指導方法やアドバイスを受ける機会をつくります。

人材育成の
考え方

- ・若年層の教職員が自信をもって対応できるよう作成した「元街小学校 Q&A」を通し、今日的課題解決に向けた取り組みを拡大していきます。
- ・若年層の教職員の育成を図るため、長期的な計画による研修の他、若年層のニーズに合わせた研修を充実させていきます。
- ・児童理解を深める為、児童指導委員会による会合の他、教科指導研修時、行事等反省会時、職員会議等できるだけ多くの機会での情報交換、対応についての検討の場を設けていきます。
- ・少人数制、T・T等の教授法の研修を取り入れ、活用が図れるよう努めます。

平成 19 年度の
重点取組目標

- ・学校カウンセラー、相談機関と連携した児童理解を深めようとする研修の場を広げ、教職員が自信をもち対応できるように努めます。
- ・多くの人と関わる総合学習を基に、外部評価の活かし方を追求し、学校理解を進める取り組みを行います。
- ・英語教育の内容を再吟味しながら取り組み、20年度からの実施校をめざします。
- ・主幹教諭を核とした学校運営組織の活性化が図れるよう努めます。

これまでの取組結果

- ・学校カウンセラーと教職員との間で児童理解を深めようと研修の場を設けました。
- ・人・もの・ことを関連付け、特に人と関わる総合学習のあり方を追究し表現力を高めるための学習に取り組みました。
- ・学校評価における年間計画を作成し、実施しました。
- ・AET、ボランティアの協力を得て、英語教育を進めてきました。
- ・学校運営組織を見直し、組織を「研究研修部」「総務部」とし、「研究研修部」の下に「教科領域部会」「共同研」「ブロック学年研」、「総務部」の下に「育成部」「学校管理部」を設けました。

教育懇話会の意見

元街小学校マニフェストを策定するにあたり、平成 18 年 12 月に「元街小学校教育懇話会」に意見をいただきました。

- ・総合学習で元町商店街の方々と触れ合うことで、生きた職業体験をさせてもらっている。この経験は、自分の将来や働くということを考える上での基礎となるので、今後も積極的かつ継続的に交流してほしい。
- ・PTA の交流の場が少ないので、保護者同志や先生と保護者の交流の機会をもっと増やしてほしい。

<学校全体に対して>

- ・10年近く子どもたちが通って感じる事は、総合学習などの取り組みに対して、学校としての教育が継続しており、年々レベルアップしているように思います。
- ・若手の先生が多い中、ベテランの先生方が指導力を発揮しているためか、クラスや学年、全体のまとまりを学校として感じています。

<学習に対して>

- ・個々のレベルが異なる中、少人数制を用いての算数指導は学習調査状況をみても成果が上がっていると思います。
- ・国語の低下を我が子たちからも感じているのですが、音読や漢字などの基礎を引き続きしっかりお願いしたいと思います。